

徘徊の方のいのちを守る
**おかえり
マーク**

ぼけても心は生きている



公益社団法人 認知症の人と家族の会山梨県支部
(あした葉の会)



「おかえりマーク」って何？

徘徊は、認知症の人のとる周辺行動の一つです。季節を問わず常に、いのちと背中合わせである危険な行動であります。過去に、行方不明や死につながったケースもありました。

徘徊の目的は何でしょうか？真剣な思いで何かを、どこかを探しあぐんでいる心の動揺が大きく作用しています。私たちは、それをどこまで理解しているでしょうか？

心に広がっているのは、その昔の勤務先であったり、父母の愛に包まれていた生家であったりする場合もあります。

交通の激しさ、寒暖の厳しさにさらされ歩き続けている人、また介護者の苦悩を少しでも和らげるために考案したのが「おかえりマーク」であります。無事に家に帰られるように…という願いを込めています。

このマークをつけた人には助けが必要です。誰が「認知症になっても普通に暮らせる社会」構築のため趣旨をご理解の上ご協力をお願い致します。

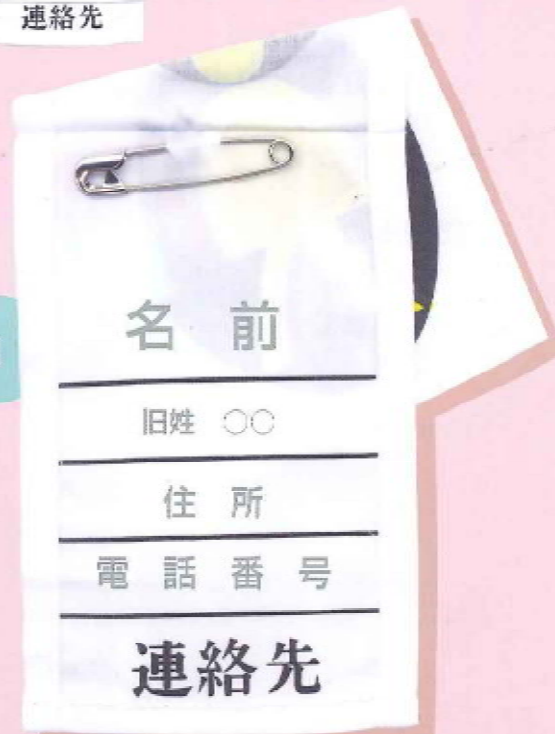


連絡先

表側（マーク印刷部分）の布をめくると、お名前、連絡先等を書くことができます。

連絡先や付ける場所は各ご家庭で話し合いの上お決めください。

例



連絡先は次に明記するところの許可を得ています。

- ※最寄りの警察署
- ※市町村の地域包括支援センター

公益社団法人 認知症の人と家族の会山梨県支部
助成先／(財)山梨福祉財団
マークデザイン／村松俊夫(山梨大学美術科元助教授)